

みちしるべ

みずからのために道しるべを置き みずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句：	わたしはぶどうの木 あなたがたは その枝である	(ヨハネによる福音書 15:5)
保育目標：	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児 ・自分の周りの人や物に興味を持ち、遊びも広がる。 1歳児 ・友達と一緒に興味のある物や人に関わって遊ぶ。 2歳児 ・自分の周りの人と言葉のやりとりをして遊ぶことを楽しむ。 年少組 ・友だちの中で自分の気持ちを表現しながら遊ぶ。 年中組 ・友だちと一緒に遊ぶ物や場を作り、共に遊ぶ。 年長組 ・友だちと協力し最後までやり遂げる楽しさや喜びを十分経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い中でも元気に過ごす。 ・寒い中でも元気に過ごす。 ・寒い中でも元気に過ごす。 ・冬の自然を感じる。 ・冬の自然を感じる。 ・冬の自然に関心を持つ。

暖冬と言いながらも、日々の寒さに身を縮める毎日です。段々と本格的な冬の到来でしょうか。朝の冷たい空気にピリッと気を引き締められます。

日頃登園時に2階の門で挨拶をしていると、朝の身支度を終わらせた子が立ち寄りいろいろなお話を聞かせてくれます。何気ない言葉を交わしたり、共に挨拶をしながらお友達を迎えたり、遊びの始まりを感じられたりと私にとって子どもたちとの生活の始まりとして大切なひと時となっています。

先日、年長児のAちゃんが朝の挨拶がてらやってきました。「おはよう」と挨拶を交わし、しばらくおしゃべりをしたところで「四つ葉のクローバー探そう。」と誘われました。門扉の横で育てているプランターを囲んでいると他にも数人の子どもがやってきました。クローバーの周りに生えている草を抜きながら、一生懸命四つ葉を探すAちゃん。けれどすぐには見つけられません。しばらく探しながら「も一全然幸せ見つからない…。」とつぶやきました。そこで「Aちゃんの幸せってなに？」と聞いてみました。すると迷うことなくすぐに「うんとねー、とにかくママが幸せなこと。」と教えてくれました。そのさりと言った言葉に私は心温まると共にはっとさせられる思いでした。

『とにかくママが幸せなこと』この言葉の中に沢山の『大切』が詰まっていることを感じました。Aちゃんがこれまでお家の方に『大切』にされてきたこと。その中で自分の思いを『大切』にしてもらってきたこと。だからこそAちゃんもお家の方を『大切』に思ってきたこと。今までの歩みで『大切』が沢山感じられたからこそ「幸せ」という願いを自分の為でなく人のために願えたのだと私は感じました。こんなに思われているAちゃんのお母さんはそれだけでとても幸せだなあと心から思いました。

子どもは身近に生活する大人を信じ、一心に思いを馳せることが多いのではないのでしょうか。しかし大人は子どもが成長していく中で、段々とその子の能力や力に目が向くことが多くなり周囲や「以前」と比べて考えてしまうことも少なくはありません。そのような目が時には必要なこともあるかもしれませんが、Aちゃんのように豊かな心が育つには「ありのままの姿」を無条件に『大切』にする大人の存在が欠かせないのではないのでしょうか。

「大人が心の底で思い願うことは言葉にしなくとも子どもには伝わっている」と私は日頃から思い生活をしています。進級・進学に近づくこの時期、何かと表面の姿に目を留めてしまいそうになりますが、その子の「ありのままの姿」を『大切』にできる大人の一人でありたいと思います。

月末には「てんらん会」を開催します。一人ひとりの心が動いた瞬間の表現を『大切』に受け止めていただければと思います。ぜひご家族皆様でお出かけください。

主任 千葉 綾子